はじめに

■Futures Japan 第４回調査とは

Futures Japan の第 4 回調査は 2025 年 4 月 30 日～2025 年 10 月 31 日に行われた、HIV 陽性者を対象としたインターネット上のウェブ調査です。2013 年～2014 年に行われた第 1 回調査、2016 年～2017 年に行われた第 2 回調査、2019 年～2020 年に行われた第 3 回調査と同様の方法をとりました。今回は、第 3 回調査からコロナ禍を挟んで 5 年ほどの期間をあけて実施した調査になります。810 名の方々にご回答いただきました。

この調査プロジェクトには数多くの HIV 陽性者が企画段階から参加し、HIV 陽性者にとってどんな調査が必要なのか、HIV 陽性者が本当に知りたいこと、あるいは知ってほしいことは何か、そんな議論を行い、質問項目を決め、実施しました。

第 1 回～第 3 回調査と同じ調査項目が数多くあり、４回の調査結果を比較することにより、HIV 陽性者らの生活はどう変わってきているのかを捉えることができるようになっています。その他、第 4 回調査で新たに加えた項目もあります。調査項目は多岐にわたり、多方面からタイムリーに HIV 陽性者らの健康や生活をとらえようとする試みをしています。

なお、本サマリーの一部では Futures Japan を省略して「FJ」と表現しています。また、第何回目の調査かを数字で表し、たとえば Futures Japan 第 4 回調査を「FJ4」などと記載する場合があります。

■Futures Japan 第４回調査結果サマリー（概要）

HIV 陽性者のみなさん、調査協力をしてくれた NGO・NPO や医療従事者、研究者など、幅広く多くの方々にこの結果をフィードバックするために、調査の集計結果の要点をまとめたものをサマリーとしてまとめ公開します。これまでの調査結果との比較も一部で紹介しています。

この調査結果から、HIV 陽性者の方々が全体としてどんな状況にあるのか、どんなふうに変わってきているのかを知ることができます。また、HIV 陽性の方にとっては、それを通じてご自身の立ち位置や変化を確認し将来展望を得ることができます。支援やケアをされる方、一般の方々にとっても、HIV 陽性者の思いや経験を知ることができるようになっています。さらに、行政機関や医療機関の方々などが、今後、政策や施策の決定を行うためにも役立つように作られています。

本サマリーは多くの方々が分担して作成しました。そのため、ある程度の統一性は持たせたものの、セクションによって書き方や表現の仕方などが多少異なっています。